

# 専門基礎分野

健康支援と社会保障制度



## シラバス

科目名	総合医療論	単位	1	時間数	15	開講時期	3年次前期	担当者	校長
学習のねらい	保健医療の現状について、社会経済現象および医療現象、看護の視点から理解する。現代医療が人々の生活と健康にどのような影響を及ぼしているか理解を深めるために、医療論の基礎的知識を学ぶ。								
目的・目標	<p>目的；多角的な視点で医療の全体像を捉えることができる。</p> <p>目標； 1. 医療の高度な発達の背景とその変遷を理解できる。  2. 日本の現代社会における保健医療の仕組み、医療の多様性を理解できる。  3. 医の倫理に基づいた医療の役割を理解できる。</p>								
授業計画	1回 (45分×2) 医学の歴史 (テキスト1章) 2回 (45分×2) 病気とその治療、予防 (2章) 患者の診察と検査 (3章) 3回 (45分×2) 日本の医療の現状と国民の意識 (5章) わが国の医療の問題と対策 (6章 医療法改定を除く) 4回 (45分×2) 医療職の役割とチーム医療 (12章) 5回 (45分×2) 災害医療 (14章) 6回 (45分×2) 医の倫理、患者の権利 (15章) 7回 (45分×2) 医療と法律 (18章) 8回 (45分) 筆記試験								
評価方法	筆記試験 (100%)								
教科書	現代医学概論								
参考文献									
履修要件									

## シラバス

科目名	疫学と保健統計	単位	1	時間数	15	開講時期	2年次後期	担当者	中林 美奈子																								
学習のねらい	<p>疫学は人間集団における健康状態とそれに関連する要因の頻度と分布を明らかにするものである。臨床現場ではこれら疫学の概念や手法が活用され、根拠に基づいた医療（EBM）を進められており、その疫学の原理と方法を学ぶ。</p> <p>保健統計は、集団としての健康度、保健衛生、社会生活の状況を定量的に把握するための基礎的データである。各種の保健統計の概要、保健統計とその見方、統計を読む際の諸注意等の学習から、ヘルスサービスのために健康や疾病に関する統計を取る意味を学ぶ。</p>																																
目的・目標	<p>目的；疫学の原理と方法を理解し、保健統計を正確に理解する。</p> <p>目標；</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疫学の原理と方法について理解できる。</li> <li>2. 保健統計の概要について理解できる。</li> <li>3. 健康や疾病に関する統計を取る意味が理解できる。</li> <li>4. 保健統計が示すデータを読み取ることができる。</li> </ol>																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1回</td> <td>(45分×2)</td> <td>疫学（疫学とは、疾病と死亡の指標、効果指標、臨床疫学とEBM等）</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>(45分×2)</td> <td>保健統計（保健統計とは、保健統計の歴史、人口統計学の基本等）</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>(45分×2)</td> <td>保健統計（人口静態統計：国勢調査、人口ピラミッド、年齢3区分と健康指標等）</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>(45分×2)</td> <td>保健統計（人口動態統計：出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率、生命表、平均余命・寿命、健康寿命等）</td> </tr> <tr> <td>5回</td> <td>(45分×2)</td> <td>保健統計（死因統計、国民生活基礎調査、患者調査、保健統計調査等）</td> </tr> <tr> <td>6回</td> <td>(45分×2)</td> <td>保健統計（学校保健統計、労働衛生、国民健康・栄養調査等）</td> </tr> <tr> <td>7回</td> <td>(45分×2)</td> <td>保健統計（感染症発生動向調査、食中毒統計、感染症対策等）</td> </tr> <tr> <td>8回</td> <td>(45分)</td> <td>筆記試験</td> </tr> </table>									1回	(45分×2)	疫学（疫学とは、疾病と死亡の指標、効果指標、臨床疫学とEBM等）	2回	(45分×2)	保健統計（保健統計とは、保健統計の歴史、人口統計学の基本等）	3回	(45分×2)	保健統計（人口静態統計：国勢調査、人口ピラミッド、年齢3区分と健康指標等）	4回	(45分×2)	保健統計（人口動態統計：出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率、生命表、平均余命・寿命、健康寿命等）	5回	(45分×2)	保健統計（死因統計、国民生活基礎調査、患者調査、保健統計調査等）	6回	(45分×2)	保健統計（学校保健統計、労働衛生、国民健康・栄養調査等）	7回	(45分×2)	保健統計（感染症発生動向調査、食中毒統計、感染症対策等）	8回	(45分)	筆記試験
1回	(45分×2)	疫学（疫学とは、疾病と死亡の指標、効果指標、臨床疫学とEBM等）																															
2回	(45分×2)	保健統計（保健統計とは、保健統計の歴史、人口統計学の基本等）																															
3回	(45分×2)	保健統計（人口静態統計：国勢調査、人口ピラミッド、年齢3区分と健康指標等）																															
4回	(45分×2)	保健統計（人口動態統計：出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率、生命表、平均余命・寿命、健康寿命等）																															
5回	(45分×2)	保健統計（死因統計、国民生活基礎調査、患者調査、保健統計調査等）																															
6回	(45分×2)	保健統計（学校保健統計、労働衛生、国民健康・栄養調査等）																															
7回	(45分×2)	保健統計（感染症発生動向調査、食中毒統計、感染症対策等）																															
8回	(45分)	筆記試験																															
評価方法	筆記試験（100%）																																
教科書	系統看護学講座 公衆衛生学 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会																																
参考文献																																	
履修要件																																	

## シラバス

科目名	地域保健	単位	1	時間数	15	開講時期	2年次後期	担当者	教員 保健師
学習のねらい	看護師は個人・家族・集団・地域社会（コミュニティ）にみられる健康状態/生命過程への反応を扱う。また人間の健康は社会環境に大きく影響され、個人の努力だけでは限界がある。人々の健康を向上させるには人々を取り巻く、社会的環境を含むさまざまな環境への働きかけが重要となり疾病の有無にかかわらず、また全てのライフステージにある地域住民全体を視野においた組織的な健康づくりが重要となる。その地域保健の概要について学ぶ。								
目的・目標	目的；看護職として地域住民の健康な生活を支えるための制度について学ぶ。 目標；1. 健康概念の変遷を知り、健康づくりのための基本理念について理解することができる。 2. 地域保健に関連した、関係法規、制度の基礎知識や基本理論について理解することができる。								
授業計画	1回 (45分×2) 母子保健 2回 (45分×2) 成人保健 3回 (45分×2) 高齢者保健 4回 (45分×2) 精神保健 5回 (45分×2) 障害者/難病保健 6回 (45分×2) 産業保健 7回 (45分×2) 学校保健/災害保健 8回 (45分) 筆記試験								
評価方法	筆記試験（100%） 点数配分 母子・成人・高齢者・精神・障害者・産業保健：各14点（14×6） 学校保健/災害保健：16点								
教科書	系統看護学講座 公衆衛生学 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会								
参考文献	講義の中で紹介する								
履修要件									

## シラバス

科目名	社会福祉論	単位	2	時間数	30	開講時期	2年次前期	担当者	志賀 文哉
学習のねらい	<p>社会保障や社会福祉の制度は、支援を要する特定の者を対象とするものではなく、誰もが必ずかかわりをもつ普遍的制度である。人間の健康にかかわる事項に社会のさまざまな立場からかかわることが期待される看護師にとって社会保障、社会福祉の制度に関する知識を身につけることが今後ますます求められる。保健医療福祉サービスの連携を円滑に行えるための基礎的知識を身につけて欲しい。</p>								
目的・目標	<p>目的；社会保障の概念から、医療における社会福祉ニーズを理解し、必要とされる社会福祉資源が分かる。          目標；1. 社会保障の基本的しくみについて理解できる。          2. 現代社会の変化から、社会保障・福祉の動向について理解できる。</p>								
授業計画	<p>1回 (45分×2) オリエンテーション          2回 (45分×2) 社会福祉の概念、社会福祉の動向          3回 (45分×2) 医療・ケアのガイドライン（ACPなど）          4回 (45分×2) 社会の変化、社会保障の動向 医療保障          5回 (45分×2) 医療保障（医療保険）          6回 (45分×2) 医療保障の費用負担など          7回 (45分×2) 医療保障補論 介護保障①          8回 (45分×2) 介護保障②          9回 (45分×2) 介護保障③          10回 (45分×2) 介護保障④          11回 (45分×2) 所得保障①          12回 (45分×2) 所得保障② 医療・介護の連携          13回 (45分×2) 所得保障③（労務災害） 公的扶助          14回 (45分×2) 公的扶助          15回 (45分×2) 医療・介護の連携 最終試験</p>								
評価方法	<p>筆記試験（50%）に加えて授業中に実施する小テスト（10%）およびレポートの提出（40%）で評価する</p>								
教科書	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 医学書院</p>								
参考文献	<p>必要に応じ、資料（プリント）を提示、配布する</p>								
履修要件									